

自主検証実施結果報告書

〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 〇〇消防署長

報告者（電話 493-4141 番）

住 所 富山市今泉191

氏 名 株式会社富山  
代表取締役 富山 一郎

次のとおり検証を実施いたしましたので報告します。

所 在 地	富山市今泉119-1		
名 称	特別養護老人ホーム 富山消防	用 途	特別養護老人ホーム
検 証 日 時	〇年 〇月 〇日 (〇) <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">午前</span> ・後 10時 30分から		
検証実施責任者 職・氏名	防火管理者 富山 四郎		
火災想定場所	1階 リネン室		
防火管理体制	勤務体制(夜間)	勤務者 〇人 (内訳 男性 〇人、女性 〇人)	
	火災確認者が待機 している場所	1階	仮眠室
検証訓練参加者	従業員 〇人	従業員以外 〇人	合計 〇人
※受 付 欄		※経 過 欄	

- 備考 1 報告者が法人である場合は、その名称及び代表者氏名を記入すること。  
 2 夜間の宿泊又は収容施設を有する場合は、夜間の防火管理体制を記入すること。  
 3 この報告書は、自主検証実施後7日以内に提出すること。  
 4 ※印の欄は、記入しないこと。

測定項目	計時測定の時点			時間
火災現場確認	自動火災報知設備が発報した時点から、火災現場に行き、出火室入口のドアを開けて火災を確認し「火事だー！」と2回叫んだ時点まで。			○分○秒
119番通報	自動火災報知設備が発報した時点から、119番通報を終えて受話器を置いた時点（非常通報装置の場合は、押しボタンを押す動作）まで。			○分○秒
館内連絡	自動火災報知設備が発報した時点から、非常放送（非常放送設備がない場合は、肉声等で全館に連絡）で避難の指示（3回繰り返す）が終了した時点まで。			○分○秒
初期消火	自動火災報知設備が発報した時点から、消火器（15秒間保持）又は屋内消火栓（30秒間保持）の操作が終了した時点まで。 〔使用した設備： 消火器・屋内消火栓 〕			○分○秒
火災階・出火区画の避難誘導	自動火災報知設備が発報した時点から、火災階等の避難誘導が終了した時点まで。			○分○秒
非火災階・隣接区画の避難誘導	自動火災報知設備が発報した時点から、非火災階等の避難誘導が終了した時点まで。			○分○秒
上階・竪穴隣接区画の避難誘導 <small>（旅館・ホテル等は対象外）</small>	自動火災報知設備が発報した時点から、上階隣接区画等の避難誘導が終了した時点まで。 <small>（注：6項イ・6項ロでスプリンクラー設備がある場合は対象外）</small>			○分○秒
対応行動	マニュアルで定めた行動を行ったか			Ⓒ・否
※ 限界時間	火災階・出火区画	分	適合・不適合	ランク
	非火災階・隣接区画	分	適合・不適合	
	上階・竪穴隣接区画	分	適合・不適合	